

地域で支えあうまちづくり懇談会 アンケート集計 (H30.1.25菩提寺まちづくりセンター)

	菩提寺・ 菩提寺北	岩根	その他
①区長・まち協	14人	15人	
②民生委員・児童委員	15人	9人	
③保護司	2人	1人	
④更生保護女性会			
⑤健康推進員			
⑥各種団体役員		1人	
⑦市民	1人		1人
⑧市内事業所	2人		1人
⑨その他	1人		18人
計	35人	26人	20人
参加者数	81人		

懇談会に参加しての感想・ご意見、言えなかった地域の課題

- ・個人情報の心構え、子どもの見守り、ゴミの分別方法の徹底。
- ・気がつかない課題があることを気づかせてもらったので、参加して良かった。
- ・いろいろな立場の方の意見や考えを伺うことができて良かった。
- ・発表の中で「認知症」のことを「認知」と言われた方がおられたが、「認知症」と正しく言ってほしかった。発表されている方が役職のある方だけに気になりました。
- ・テーマが漠然とし、目的が多様なため、議論が深まらない。特に何を一番大事にするのかをはっきりしないと「いろんな問題があるね」と終わってしまいそうです。
- ・万一、災害が発生した時に要援護者の支援体制をしておく必要がある。
- ・生活支援は地区で取り組まないとうまくいきません。

- ・シルバー人材センターの登録者が500人おられるで、人材センターに協力してもらえばよいのではないかと。
- ・地域がもっている問題はどこもほぼ共通していると思った。問題点を絞り込んで解決の方向性を示してほしい。
- ・市、区、自治会、各家庭の組織立った情報がきっちりとできているか見直してほしい。広報を見れば分かるではダメだと思う。
- ・次年度の進め方に前半期に3回は頻度が多く、継続的参加が困難。進め方や意見反映活用のあり方などシナリオ制のある運営を。
- ・行政と地域との信頼関係の強化が特に重要(ギブ&テイク)
- ・「地域共生社会」我ごと、丸ごと、縦割りの排除、包括的に取り組むという概念が難しい。今後の民生委員児童委員の役割はこれまでどおり相談や行政のつなぎを行います。地域リーダー役はハードルが高く、より関係機関との連携を図っていくよう努めます。
- ・ひとり暮らしの不安の解消をどのようにして周りが考えるか。
- ・今後、想定される30年度の震災等に対する共助の体制が急務ではないかと。
- ・気軽に相談し支え合えるコミュニケーションの場の構築。
- ・これから年を重ねていくが、車を返納した時にどのようにして病院の通院をするか今から考えさせられます。
- ・それぞれの役職の参加でいろいろな意見が聞けてよかった。この町で心豊かに安心して生活できるために、このような交流をすることは大事なことだと思いました。子どもから大人、老人までひとり一人の価値観はかなり違ってくるが、基本的に大切なことは、いつの時代も同じだと思っています。今後こうした場を設け、顔を見ながら話し合うことをしていかななくてはなりません。
- ・地域内には様々な課題がある事が意識できました。今後、まち協単位での懇談会に移行されるとのことですが、かなりの負担になると考えます。
- ・将来、家を継ぐ者がいなくなる現象が起こる可能性が高い。
- ・地域団体の年齢層の繰上げが必要。老人クラブの加入年齢、その他の団体人数が減少し、住民活動(福祉活動)ができなくなっている。
- ・行政自らが福祉の先頭に立ってほしい。新庁舎建設は福祉充実に反対方向である。福祉に予算が必要。
- ・最初にワークショップの進め方をしっかり説明したほうがよかった。
- ・ひとり暮らしの見守り、自治会や隣人の強化、ボランティア、精神的な支援、家族の支援。

- ・子どもの遊びは、デイサービスが近所に少ない。
- ・このような話し合いの場をもって、情報の共有や課題の認識をもつことが大切だと思う。
- ・自治会に加入されていない集合住宅への対応が難しい。
- ・各コミュニティ(自治会等)の方と楽しくいろいろな意見を聞くことができて良かった。
- ・中身の濃い本音で話し合える場でした。それぞれの現状抱えている諸問題について、相手の立場を理解していく必要性、他人任せにしないで、お互いに手を携えながら、住みよいまちづくり、福祉について一層の推進のために力を注いでまいります。
- ・本件に対する市の進め方、大変よろしい。(5月からの課題をまとめていく会議をもっと)
- ・空き家・空き地が増え、雑草やハチの巣などの問題と元気な高齢者の活動の場がない問題が出たので、元気な高齢者が雑草刈りを有料でもよいので担えば良いのではないかと。
- ・福祉に関しては課題が多く、一言では言えないが、その中でも高齢者対策として、一人住まい世帯への要援護支援の具体策を構築すること。介護者の確保。
- ・何か最後はまち協にねじくるように思うが、相談はできているのか？今までの簡単なことができていないのに、新しい課題を作らないほうがよいと思う。
- ・グループに民生委員さんが集まっていました。意図的ですか？バラバラでもよかったのでは。
- ・テーマを決め議論する時間を長くし、お互いの情報交換なる場にもしてもらいたい。
- ・不安問題が共有できた良かった。どうしていくのか意見交換ができそうです。そんな場がまたあれば良いと思います。
- ・結論が出る問題ではないと思うが、ねばり強く区民が力を合わせて1つ1つ取り組んでいくことが大切だと思います。
- ・課題多く、多難。
- ・市民も頑張って住みよいまちに努力しますが、どうしても行政の力が必要だと思います。
- ・昔は地域は我が事の比率が高かったが、今は他人事と思う人が多くなってきており、問題には関わりたくない、煩わしいのでは。教育が悪い？家庭教育が悪い？しつけの基準と虐待との間？
- ・いろんな問題があり、それぞれの意見を聞き、考えることができ良かった。

・参加のすべての区の問題は同じ。